

平成26年度 第3回 滝川市子ども・子育て会議 議事録【概要】

平成26年8月24日(火)  
14時00分～  
市役所8階 大会議室

1. 開会（進行：子育て応援課 前田課長）
2. 保健福祉部長あいさつ
3. 議事（進行：田代会長）

① 教育・保育提供区域の設定について（事務局より説明）

会長 設定区域、メリット・デメリットそして滝川市の状況、事務局の提案として滝川市全域をひとつの区域として設定するという提案がありましたが、質疑はあるか。

委員 （異議なし、拍手）

② 量の見込みについて（事務局より説明）

委員 預かり保育に関して、滝川市の幼稚園の在園児の中でも、砂川や新十津川からの園児が若干名通ってきているので、運営方法を工夫すれば受け入れは可能かと思う。

委員 病後児保育について、幼稚園の一時預かり保育の中でも、幼稚園はほとんど専業主婦と言っているが、パートに出ている方が相当いる。病後児保育のタイプが A / B / C / E となっているが、D の専業主婦の家庭も利用できるようにしたらどうか。

事務局 現状では、病児・病後児保育は保育所を利用している方に限られているので、ご意見を踏まえて検討させていただこうと思う。

会長 課題として、一時預かり保育・放課後児童健全育成事業（低学年・高学年）で隔たりがあり希望のクラブに入れられないケースがある。それらも合わせてどう思うか。

委員 以前は幼稚園で一時保育を実施していないところがあり、幼稚園が休みの時などに一時保育を実施していた花月・一の坂保育所の利用者も多かったが、減少してきている。滝川市内 2 か所に職員を配置する必要はあるのか、少子化のことも考

えて1か所でもいいのではないか。

会長 それらも合わせて検討をお願いする。事務局からの検討課題、現状、そして対応策を受けて、将来計画を立て、それに基づいて再度立案していくことでよいか。

委員 (異議なし)

事務局 子育て短期支援事業につきまして、「1258」という数字をどうとらえるか。要因はお話ししたとおりの可能性があり、何か考えるべきだという意見か、まずは実態を把握して検討する方向になるのか、ご意見があれば伺いたい。それと放課後児童クラブについても、お示した数字は就学児の親の数字を使っており、片や未就学でのルールにのっとった数字をとると大きくオーバーしてしまう。果たして今のままで大丈夫か、ご意見があれば伺いたい。

委員 滝川市でショートステイ事業を行う場合、利用者が減っているとして、民間に影響を与えることにならないか。市としてショートステイ事業をやる方向なのか。

事務局 現在ショートステイ事業を主として行っているのは、児童養護施設を抱えている自治体などであり、滝川市でもしやるとしたら、直営、もしくはどこかに委託するという選択肢もある。ショートステイに限った話しではないが、民間がすでにやっている事業を圧迫するようなことは避けるよう配慮することが必要ではないかと思う。

会長 ファミリー・サポート・センターの提供会員の増員に向けた取り組みについても併せて進めていただきたい。

### ③ 各種基準条例の制定について（事務局より説明）

委員 経過措置の5年が終わった後の見通しはどんな感じか。

事務局 放課後児童クラブの利用希望は、児童数が減少しているものの右肩上がりとなっているが、児童数全体の数は明らかに減少傾向なので、300という定員の中で実際の定員と利用希望の状況が2年後3年後にどうなるかということは見極めたい。定員の設定が50人・70人というところもあるので、実際の利用希望と照らし合わせて見ていきたい。可能であれば子ども教室との合体というような課題もでてきたことから、5年後にどうするかではなく、5年以内に正しい方向にもっていきたいと考えている。

委員 状況を見て、切り捨てるようなことはしないということか。

事務局 現在運営をしている中で、それが定員超過につながっているという面もある。自治体によっては、利用希望児童に順位を付けるといった作業をしている所もあるが、滝川市においては一定の期間に申し込まれた方についてはお受けしている。しかし、定員をかなり超過しており、何らかの取り決めが必要になってきていることから、それも合わせて検討させていただきたい。

#### ④その他（なし：質疑なし）

— 以降、事務局が進行 —

#### 5. 閉会

【出席者】猪股委員、堀田委員、種田委員、津野委員、内田委員、宮治委員、  
田代委員、内潟委員、椿坂委員、深尾委員、東委員、芳村委員

【欠席者】尾崎委員、西村委員、船奥委員、